

(株) もしもしホットライン社「女性の就業支援事業」実施報告書

提出日/平成25年9月25日

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中

下記の通り報告いたします。

1 施設概要

施設名	エル・ソーラ仙台	
住所	(〒980-6128) 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1	
	電話：022-212-4322	FAX：022-268-3911
担当者名・職名	エル・ソーラ仙台 仙台市母子家庭相談支援センター 行場麻衣子	

2 事業実施の概要

開催日時	25年8月28日(水)～8月30日(金)
対象者・定員	仙台市内在住の母子家庭の母、寡婦の方。20名
広報方法	チラシ・ポスターによる広報 市内153か所(区役所、保育園、母子支援施設等)、約2200部 その他広報 仙台市男女共同参画推進センターホームページの講座・イベント情報に掲載、推進センター情報紙「えるなびっ」8月号掲載、財団メールマガジン「メール・de・えるなびっ」配信、市政だより8月号(仙台市全戸に配布)掲載、河北新報(8/10)夕刊イベント欄掲載
申込人数	12名
参加人数・年代	12名。20代：2名、30代：3名、40代：4名、50代：3名
参加者の状況	母子家庭の母：10名、離婚調停中2名で、求職中：8名、就業中：4名(うち、転職希望3名)。講座の最中にも面接の連絡待ちの人や、面接終了後に講座に駆けつけてくる受講生もいた。
参加者のPCスキル	Word：少し使える9名、基本操作ができる3名 Excel：殆ど使えない2名、少し使える7名、 基本操作ができる3名 PowerPoint：殆ど使えない9名、少し使える2名
実施にあたってセンターで工夫した点	今回初めて「女性の置かれている状況」について講義を行ったが、どうしても「貧困」やDVの影響等 厳しい現実について話さなければならず、受講生のやる気に水を差さないよう最終日に行い、その原因は当事者にあるのではなく、社会の構造的な問題であること、併せて女性の参画を応援する仕組みとして推進センターの機能等についても説明した。
出席率	1日目：100%、2日目：100%、3日目：83%

3 アンケートまとめ

最終日出席者人数：10名 アンケート回収数：10枚 アンケート回収率：100%

回答	5	4	3	2	1	未記入	平均点
1. 受講後の満足度	5人	5人	0人	0人	0人	0人	4.5
2. パソコンの自信度	1人	5人	4人	0人	0人	0人	3.7
3. 各講座の理解度							
ワード	4	4	1	0	0	1	4.3
エクセル	2	5	3	0	0	0	3.9
パワーポイント	3	6	1	0	0	0	4.2
4. 働くことへのイメージ	4	1	5	0	0	0	3.9
5. コールセンターへの興味	0	4	3	3	0	0	3.1
5の設問の自由回答							
・今まで経験のない仕事ですが、チャンスがあればチャレンジしてみたい。							
・コールセンターの募集内容（条件等）にもよる。受信や事務等を希望。HPで確認してみようと思う。							
・以前、コールセンターの面接を受けたが、落ちてしまった。							
・仕事内容について、まだ詳しくイメージできていない。							
・しゃべりっぱなしの仕事は大変そう。自分には適度に体を動かす仕事が向いていると思う。							

4 講座実施にあたっての工夫点（広報方法、事前準備等）

母子家庭の母を対象としているため、児童扶養手当受給に関する現況届提出時期に合わせて、区役所の窓口にチラシを配置し、また窓口の担当者へも事前に説明会を開いて広報への協力を得た。

またここ数年 DV 被害者や経済的に困難な状況にある女性を対象としたパソコン講座を行っているため、託児のスタッフにも注意すべき点（気を配るべきこと）が浸透しており、スムーズに講座を実施することができた。

5. 事業の効果

3日間を集中して自分のスキルアップに使うこと、仕事をすることというイメージしながら受講すること等を初日のオリエンテーションで説明した。その甲斐あって、講師の話しに集中すべきところとリラックスするところなど、各自がメリハリをつけながら講座に取り組んでいた。また初めは躊躇していた質問も、徐々に積極的に手が挙がるようになっていった。自主的に早めに来て前日の復讐をしたり、お昼時間は年代に関わらず参加者同士でおしゃべりしたり、お互いに教えあったり、ひとりひとりが講座に真摯に取り組んだ結果、とても雰囲気よく講座を進めることができた。

6. 担当者所感

全体的に受講生の意識が高く、3日間の講座に集中できていたと思う。また途中でリタイアする人もいなかった。

講座実施にあたり、もしもしホットラインの担当者の方と入念に打合せができたことで、運営サイドも不安なく講座に臨めた。また日々ミーティングを行うことで、受講生のレベルや理解度、個性に合わせた進み方等柔軟に対応してもらうことができた。受講生のレベルを考えると Excel はやや

ボリュームがあるかと思っただが、前日の様子を見て進み具合にメリハリをつけた結果、予定した内容をほぼこなすことができた。また Excel と PowerPoint は普段あまり個人的に使わないせいか、教われればすぐに操作できるようになるものの、実際に習った機能を使って仕事をしていないために、今一つマスターした感じがつかめないようだった。

パソコン講座に比べて就業支援プログラムの時間が 1 日 15 分~20 分程度と短く、どうしても付け足しのような印象をぬぐえなかった。受講生は真剣に話を聞いていたものの、パソコン講座からの切り替えがうまく行かないのか、コールセンターに対する具体的なイメージを持つまでに至らないひとが多いように感じた。質問を受けるなど、座談会的にもっと話しに引き込むような仕掛けが必要だったかもしれない。

受講生が定員に達しなかったのが残念であったが、室内の環境やひとりひとりに対するフォローなどを考えると、12 名で実施できて結果的には良かったと実感した。

最後に、もしもしホットラインのスタッフや講師の方々がこちらの要望を的確に受け止め、より充実した内容にするために速やかに対応して下さったことに感謝したい。